

議員特別研修実施報告書

報告議員名	高橋聖悟	報告日	令和元年11月29日
調査研究・研修等 名 称	・自治振興セミナー ・日経TECH EXPO2019・Media DO電子図書館		
実 施 日	令和元年10月10日木より同年10月12日まで		
会 場	東京都千代田区 市町村会館、 江東区 東京ビッグサイト、 千代田区 MediaDo本社		
調査研究・研修等の 概 要	*別紙添付		
調査研究・研修等の 成果と感想	*別紙添付		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

調査研究・研修等の成果と感想

・自治振興セミナー：

「転換期を迎えた日本の地方政治」「地方自治体が担う医療介護の今後」そして、おなじみの江藤としあき教授の「地方議会改革と政策立案機能」のセミナーを受講してきました。

「転換期を迎えた日本の地方政治」についての講演では、行政、地方自治は大きな転換をしていく必要があるとのこと。20世紀は、すべて右肩上がり。21世紀は、人口減少、経済停滞、所得も税収も増えない、多くの右肩下がりを前提に、身の丈に合うようにリセットすることが必要であるとの提言でした。そしてそこで問われるのは、どのように賢く統治の仕組み、行政を畳み、豊かさを実現するかということであった。その中で、基礎自治体と国の関係、及び都道府県の役割についてでは、何十にも重なり合う統治機構を簡素化すること、特に卸問屋のような都道府県。政令市、中核市との区別が不明なものは廃止し、国からの権限を移して内政するような統治拠点をつくるべきという話は、都道府県が空洞化して意味があまりないと日ごろから思ってる私にとっては、一部その通りであるとは賛同したが、立法権、行政権、課税権、財政権、人事権を手にして、自立を目指し、それぞれが競い海外とも交易を増やし、そうして日本全体を蘇らせるということも考えていく時代ではないかという話は、ある意味「小さな政府」道州制としての論議なんだろうが、しかし、そうなれば、自己責任が伴います。税収も自前になります。もし、仮にそれが弱いところは、サービスをどう維持し、どう提供し続けていくのか、それを想像すれば、人口減少、アンサスティナブルな自治体に拍車がかかるのではという疑問にも駆られました。

また、この教授は国の借金という表現をしてましたが、それは、果たして正しい表現なのかも疑問に思いました。正しくは政府の借金なのですが。

そんなこともあり、この講義を通していろいろと考えさせられました。

その他、資料にある「地方議会が立法機関に変わる」「第3臨調の設置」等多岐にわたる地方政治の在り方、進め方、変革の仕方を学んできました。

「地方自治体が担う医療介護の今後」については、医療介護の現状や将来推計について学んできました。市の医療介護のメニューづくりに役立てたいと思います。

「地方議会改革と政策立案機能」については、江藤先生の講義により、議会の在り方について再度認識させられてきました。

・日経TECH EXPO2019：

人口減少、少子高齢化の下で持続可能な社会にすることは、従来型のシステムや手法では手を施していけないようになってきていると感じたことから、Society5.0の世界が目の前に来ている、または、既に一部が組み込まれている中において、その恩恵を利活用しながら社会問題を解決していき、サステイナブルなまちを成し遂げていくことが必要と思いこの研修に参加した。

いわゆる、行政におけるAI、IOTの導入が可能か、必要か、そして、どんな種類のものが行政サービスとしてできるのかを研修してきたことであるが、会場では、予想以上の技術、会社の多さに驚きつつもたくさんの事例をみてきた。導入できるものは今後提言していきたい。

・Media DO電子図書館：

市民への新たなサービスとして、いつでも・どこでも・だれでもを可能とする電子図書

館について研修してきました。特徴、仕組み、取扱いコンテンツ、導入実績等を詳しく説明され、まさにこれは、開館時間、貸出返却 コンテンツの魅力、出向くための足（公共交通不足） 高齢化、等たくさんの懸念を解決できるものとして認識をしてきました。

昨今の無理くり狭い土地に本の図書館を持ってこようとする事にも一役買えるのではないかともしました。

まとめ

今回の全体の研修を通して、社会が大きく変化していく中では、手法も制度も変化させていかなければいけないと感じたところです。しかも、スピードをあげて。

特に、5Gが叫ばれる中で新たな良き行政サービスになり得るものがたくさんあることを加味しながら、予算や事業の精査をしていくことが肝要と思いました。